

環 1	人の環をつくるための情報が集う場をつくる
	■エコネット(関連情報集約のためのネットワーク)の設置 ・インターネットを活用し、情報と連絡体制の共有、活性化を図る ・環境を軸とした市民やグループなどのネットワークの核とする ・通川の環境に関する情報を網羅する

環 2	体験を通じて学ぶ現場学習の推進
	■環境学習リーダーを核に環境に関心を持つ市民の環を広げる ・民間との連携で様々な体験を通じて環境学習リーダーの育成を図る ・環境学習リーダー同士の交流、発表機会等の創出 ・外部講師や地元の人材を積極的に活用した講座等の実施
	■環境学習の多様な展開により、環境意識を向上させる ・地域、学校、職場、市民グループの環境学習への対応 →地域の人材や事業所のエキスパート等を活用した講師派遣のしくみづくり ・学校教育プログラムとの連携 ・民間団体、事業所等のイベント等との連携による学習提供機会の拡大

環 3	人々の交流が「人の環」を形成し、物語を次のステージに押し上げる
	■市民・事業者・行政の環を形成する ・情報を幅広く市民が共有し、参加の機会を広げる環境市民大会の開催

たしかわ「環のまち」物語は、次のステージに引き継がれる・・・

行政としての役割	これまでの取組及び 今後の実施予定の取組 <i>(斜め字)</i>	説明コメント	評価及び評価コメント
・エコネットの構築・運営 ↓情報の集約・仲介のしくみの整備 ↓提供サービス内容の検討 ↓たしかわエコネットの構築・運営 →人の環のベースづくりのサポート	たしかわエコネットの運用開始 (H23～)	たしかわエコネットの運用を開始し、情報の集約や仲介を円滑化するための基本的な枠組みの構築を図ったが、今後は、より活用されるよう工夫を進めていく。	
・環境学習リーダー育成プログラム作成 ↓プログラムの構築 ↓団体や事業者等との連携構築による内容工夫 ↓環境学習リーダーの活動の場の創出 ●核となる人材の育成	環境学習リーダー養成講座の開催(H18～) ※これまでの実施概要 [H18]省エネやリサイクルに関する講座(全5回シリーズ)、[H19]温暖化ごみ処理に関する講座、ホタテ貝殻リサイクル施設(美唄市)、製紙工場視察(苫小牧市)、[H20]省エネに関する講座、[H21]ごみ処理に関する講座、ペットボトルリサイクル施設ほか(札幌市) 視察、[H22]、[H23]エネルギーに関する講座、火力発電所(砂川市)・廃プラスチック発電所(苫小牧市) 視察	毎年、座学や先進施設等への視察を通じて、環境問題に興味と関心を持ってもらうよう、継続的に実施してきたところである。	
・民間の人材等の活用システムの構築 ↓団体や事業者からの情報収集 ↓相互連携による内容の充実	たしかわエコネットの運用開始 (H23～)	たしかわエコネットの運用を開始し、民間の人材等の活用を図るための基本的枠組みの構築を図ったが、今後は、より民間の活動を引き出せるような工夫を考案していくよう努める。	
●協働で環境市民大会の企画・準備・運営 ↓	たしかわエコネットの運用開始 (H23～)	今後、民間団体等との連携を深め、環境市民大会等の企画段階からの参画を促していく。	

【実施状況欄】

A: 十分な取組が行われている B: 取組が行われているものの、今後の推進が望まれる C: 取組が行われているが、今後、方向性を変えるなど事業の再検討が必要 D: 取組が進んでおらず、検討が必要